

# 下条村誌 上卷 目次

次

## 口 絵

## 村 図

## 序 文

## 編集について・例言

## 第一編 自然環境

### 第一章 位置・面積

三

#### 第一節 境界

三

#### 第二節 面積

五

#### 第三節 位置

七

### 第二章 地形・地質

三

#### 第一節 地形の概要

三

#### 第二節 下条村の地形区分

三

#### 第三節 伊那盆地の地形の成因

六

#### 第四節 伊那盆地の生成

九

#### 一、瀬戸海進（富草層）と伊那湖盆（伊那層）

一元

#### 二、洪積層と河岸段丘

二元

#### 三、ローム層

二元

#### 四、阿知川、駒場盆地

二元

（駒場盆地・断層の多い土地・地辺り地域）

#### 第五節 下条の地質

二元

#### 第六節 土 壤

二元

#### 第七節 下条の湧水帶

二元

#### 第三章 気 候

二元

#### 第一節 概 况

二元

#### 第二節 気 温

二元

#### 第三節 降水量

二元

#### 第四節 降 雪

二元

#### 第五節 風

二元

#### 第六節 霧

二元

## 目 次

一〇

|             |     |
|-------------|-----|
| 第七節 霜       | 八三  |
| 第八節 湿 度     | 六六  |
| 第九節 天気の概観   | 六六  |
| 第四章 植 物     | 九九  |
| 第一節 植物社会    | 九九  |
| 一、垂直植生帯     | 九九  |
| 二、常緑広葉樹林    | 九九  |
| 三、温帶性常緑針葉樹林 | 一〇一 |
| 四、川辺の森林     | 一六六 |
| 五、針葉樹人工林    | 三七七 |
| 六、雜草群落      | 三七七 |
| 七、水辺の自然植生   | 一四四 |
| 八、親田の湿原植生   | 一四四 |
| 九、大山田神社の杜   | 一三三 |
| 一〇、おわりに     | 一三三 |
| 第二節 村の古木    | 一三三 |
| 第五章 村の動物    | 一三三 |
| 一、環形動物      | 一一一 |

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 二、軟体動物                      | 一一一 |
| 三、節足動物                      | 一四四 |
| 四、脊椎動物                      | 一四四 |
| まえがき                        | 一三三 |
| 第一章 原始時代概説                  | 一三三 |
| 第一節 石器の発明（旧石器時代）            | 一三三 |
| 一、人類の誕生                     | 一三三 |
| 二、洪積世の日本                    | 一八三 |
| 第二節 狩獵・漁撈と採集生活の展開<br>(縄文時代) | 一八三 |
| 一、日本列島の成立                   | 一八三 |
| 二、狩獵・漁撈と採集の生活               | 一八三 |
| 三、縄文社会の展開                   | 一八三 |
| 第三節 農耕の始まりと社会の変化<br>(弥生時代)  | 一八三 |
| 一、新しい生産技術の展開                | 二〇四 |

## 二、農耕生活と社会の変化 ······ 二〇

### 三、東アジアと日本 ······ 三四

#### 第二章 原始時代の下条 ······ 三六

#### 第一節 旧石器時代の下条 ······ 三六

#### 一、遺跡と遺物 ······ 三六

#### 第二節 繩文時代の下条 ······ 三七

#### 一、遺跡の広がり ······ 三七

#### 二、遺物と人々の生活 ······ 三七

#### 第三節 弥生時代の下条 ······ 三七

#### 一、集落立地の変化 ······ 三七

#### 二、農耕生活の展開 ······ 三七

### 第三章 埋蔵文化財の保護 ······ 三九

#### 第一節 埋蔵文化財の性格 ······ 三九

#### 第三編 古代 ······ 三九

##### (古代前期)

#### 第一章 古代伊那谷の開発 ······ 三九

## 第一節 諏訪・安曇・天孫系三部族の 移入と伊那谷 ······ 五六

### 移入と伊那谷 ······ 五六

#### 一、出雲系諏訪族の移入 ······ 五六

#### 二、海神系安曇族の移動 ······ 五〇

#### 三、天神系天孫族の移入 ······ 五〇

#### 第二節 先進部族の移入と伊那谷の開発 ······ 五二

#### 第三節 大和朝国家の成立・発展と伊那谷 ······ 五三

#### 一、大和朝政権の成立 ······ 五三

#### 二、大和朝勢力の東方発展と伊那谷 ······ 五四

#### 第四節 信濃国造多臣族と伊那地方 ······ 五五

#### 第二章 伊那郡の統治 ······ 五六

##### 第一節 信濃十郡の制と伊那郡 ······ 五六

##### 第二節 伊那郡衙と郡司 ······ 五六

##### 第三節 伊那郡司金刺氏 ······ 五六

#### 第一節 郷戸と房戸 ······ 五六

#### 第二節 信濃における郷と人口 ······ 五六

#### 第三節 伊那郡の郷 ······ 五六

## 一、伊那郡五郷 ..... 六〇

## 二、下条は輔衆郷のうちか ..... 六一

## 第四章 土地制度の概要と貢租 ..... 六三

## 第一節 土地制度の概要 ..... 六三

## 第二節 諸税と調庸 ..... 六四

## 第五章 古代東山道の開発と御坂越 ..... 六五

## 第一節 駅制のはじまりと駅家の經營 ..... 六六

## 第二節 伊那郡五駅と東山阿智駅 ..... 六八

## 第三節 東山道の開通と伊那郡への ..... 六九

## 文化的影響 ..... 六九

## 一、中央の政治・文化の伊那谷波及 ..... 一〇〇

## 二、文化受容の素地 ..... 一〇一

## 第六章 伊那谷古墳文化の概観 ..... 一〇二

## 第一節 古墳文化概説 ..... 一〇三

## 第二節 下伊那の古墳文化 ..... 一〇三

## 第三節 古墳時代の生活 ..... 一〇四

## 第七章 下条村の古墳文化 ..... 一〇五

## (古代後期)

## 第一章 律令政治と社会 ..... 二九九

## 第二章 平安遷都と東国政策および文化の東漸 ..... 三〇一

## 第一節 国司制度の概要 ..... 三〇一

## 第二節 東国政策と文化の東漸 ..... 三〇二

## 一、坂上田村磨の伊那郡通過 ..... 三〇三

## 二、僧最澄の東国巡錫と伊那郡 ..... 三〇三

## 三、「あふちの関」と伊那郡の政治的位置 ..... 三〇四

## 四、仏教の地方弘通と伊那郡 ..... 三〇六

## 第三章 菅野朝臣真道と菅野 ..... 三〇七

## 第一節 菅野真道信濃に地を給う ..... 三〇七

## 第二節 下条郷菅野 ..... 三〇八

## 第四章 阿南地方の開発と古社 ..... 三一

## 第一節 阿南地域の地理的環境 ..... 三一

## 第二節 式内社大山田神社 ..... 三三

## 第五章 伊那郡の莊園と下条郷 ..... 三〇

## 第四編 中 世

### (中世前期)

|                     |    |
|---------------------|----|
| 第一章 武家政権と鎌倉幕府       | 三七 |
| 第一節 鎌倉幕府の成立         | 三七 |
| 第二節 守護・地頭の設置と信濃守護   | 三九 |
| 第三節 伊賀良庄地頭江間北条氏     | 三〇 |
| 第二条 建武新政と小笠原氏       | 三一 |
| 第一節 建武新政政治          | 三一 |
| 第二節 建武新政と伊那郡および小笠原氏 | 三三 |
| 第三節 建武政治の崩壊         | 三五 |
| 第三章 室町幕府と小笠原氏       | 三六 |
| 第一節 室町幕府の創立と小笠原氏    | 三七 |
| 第二節 足利氏と小笠原氏        | 三七 |
| 第四章 下条氏と伊賀良庄        | 三八 |
| 第一節 下条氏の伊那郡来住       | 三九 |
| 一、下条氏の出自            | 四〇 |
| 二、下条氏の伊那郡来住と大沢古城    | 四五 |

第二節 下条氏の発展とその環境 ..... 二二  
一、下条氏の勢力伸長 ..... 二三

二、下条氏富山に移居 ..... 二七  
三、吉岡城址 ..... 二九

第五章 下条氏の發展と小笠原氏 ..... 三〇  
第一節 大塔戦と下条氏 ..... 三一

第二節 下条氏美濃国に出陣す ..... 三二  
第三節 鈴岡小笠原氏と下条氏 ..... 三三

第四節 下条氏の文化的曙光 ..... 三四  
第五節 下条氏の社寺創立と信仰 ..... 三五

一、古城八幡社 ..... 三六  
二、大山田神社 ..... 三七

第六章 下条氏と関氏の対立 ..... 三八  
第一節 関氏の出自と伊那郡来住 ..... 三九

第二節 下条・関両氏の抗争と関氏の滅亡 ..... 四〇  
第七章 下条氏の強大と下条領 ..... 四一

第一節 関氏の出自と伊那郡来住 ..... 四二  
第二節 下条・関両氏の抗争と関氏の滅亡 ..... 四三  
第九章 下条氏とその文化的業績 ..... 四四

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 第一節 下条氏の文化性           | 三五 |
| (中世後期)                |    |
| 第一章 武田氏の伊那郡経略と下条氏     | 三五 |
| 第一節 武田氏の伊那郡攻略         | 三四 |
| 第二節 武田氏と下条氏           | 五六 |
| 第二章 織田氏の信甲攻略と武田氏の滅亡   |    |
| 及び下条氏                 | 四三 |
| 第一節 織田氏の伊那郡侵攻         | 四三 |
| 第二節 武田氏の滅亡と下条氏        | 四五 |
| 第三章 織田氏戦後の措置と伊那郡      | 四六 |
| 第四章 信長死後における伊那郡諸族の動向と |    |
| 下条氏                   | 四九 |
| 第一節 徳川氏と伊那郡           | 四九 |
| 第二節 德川氏と下条氏           | 四〇 |
| 第五章 その後の下条氏とその亡命      | 四五 |
| 第一節 賴安死後の下条氏          | 四五 |
| 第二節 下条氏上田に出陣す         | 四六 |
| 第三節 下条氏の内訌と亡命         | 四七 |

## 第五編 近世社会

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 第六章 伊那郡諸族の関東移封と伊那郡    | 四三 |
| 第七章 伊那谷の近代社会への曙光と下条郷  | 四四 |
| (付) 朝日受永              | 四四 |
| 第一節 伊那谷の検地            | 四四 |
| 第二節 飯田城毛利京極氏と下条郷      | 四五 |
| 第三節 德川氏伊那郡代官朝日受永      | 四五 |
| 第一章 支配関係の変遷と村の制度      | 四九 |
| 第一節 支配関係              | 四九 |
| 1、毛利秀頼 2、京極高知と閑ヶ原役    | 四九 |
| 3、小笠原秀政 4、脇坂氏 5、天領    | 四九 |
| 6、高須藩松平氏 7、旗本近藤領と下条の  | 四九 |
| 分家 8、知久氏と下条           | 四九 |
| 第二節 村の変遷              | 四九 |
| 第三節 村役人               | 四九 |
| 1、代々庄屋 2、廻り庄屋 3、庄屋の職務 | 四九 |
| 4、組頭年寄 5、百姓代          | 四九 |
| 第四節 五人組制度             | 四九 |

第五節 村極めとお布令

1、各村別人口動態 2、人口構成

第二章 土地制度と年貢

第三節 家族構成

六三

第一節 検地

第二節 婚姻

六六

一、秀吉の検地青表紙高帳

第三節 古い井水

六七

二、脇坂氏の検地

第四節 潤池灌漑による地域

六八

三、下条での検地と石高の変化

第一節 江戸時代中期の井水

六九

第二節 年貢の収納

第二節 新しい井水

七〇

一、年貢収納の仕方

第三節 江戸時代中期の井水

七一

二、下条村関係の年貢

第四節 江戸時代中期の井水

七二

3、近藤領下の年貢  
1、天領知久氏預り 2、高須藩の年貢

第五章 山林の利用と入会山論

七三

第三節 役夫・棟役・高役

第一節 近世の山の利用形態

七四

第四節 村伝馬・村人足・村貢

第二節 下条山脈での入会山論

七五

1、村伝馬 2、村人足 3、村貢

1、極楽山近辺の山論 2、牛ヶ爪、宝の戸近

七六

第五節 知久氏閔所巡視の接待と夫役

3、辺の山論 4、沢山入・庄田山近傍での山論

七七

第六節 木曾助郷

5、合原村出作分之草地 6、足畠山

七八

第三章 戸口・家族

7、矢岳山近傍での村境の出入 8、粒良脇村

七九

第一節 人口動態

9、御林山 10、大久保村井林山 11、粒良脇村草

八〇

山譲渡 12、合原村出作分之草地 13、足畠山  
での問題

八一

第六章 文通

八二

目次

一五

目 次

一六

第一節 金刺街道と村内の主要道 ..... 七四

1、金刺街道 2、村内の主要道

七四

第二節 庶民の旅行 ..... 七五

1、関所と手形 2、順礼の旅 3、上層百姓  
の旅 4、おかげ参り

七五

第三節 中馬による商品荷物の動き ..... 七五

1、三州街道中馬・宿場の発達 2、金刺街道  
の中馬・つけ馬

七五

第四節 通信 ..... 七七

天竜川の通船

七九

第七章 産業 ..... 六三

第一節 農業 ..... 六三

1、耕地 2、水田 3、水稻の伸長 4、稻  
の品種 5、播種技術 6、畑作物 7、大麦  
8、肥料 9、馬 10、農具 11、猪鹿除け

七五

第二節 商品作物と家内手工業（副業） ..... 七五

1、立石柿 2、酒造 3、養蚕

八九

第八章 因作・飢餓と貯穀 ..... 八九

第一節 農業と因作

因作・飢餓と貯穀

八九

第二節 天明の大飢饉 ..... 二〇

第三節 天保の凶作

二〇

第四節 備荒・貯穀 ..... 二二

1、救恤施策 2、郷倉

二二

第九章 藩財政の窮乏と農民 ..... 二四

第一節 数多い御用金

二四

第二節 藩借財の後始末

二四

第三節 高須藩の財政窮迫

二四

第四節 天領知久氏預の村

二四

第十章 寺小屋・庶民の文化 ..... 二三

第一節 寺小屋

二三

第二節 庶民教育

二三

第二節 村の寺小屋 ..... 六四

。竜岳寺寺小屋 。上河原手習所（以下略）  
。新井甚兵衛 。与左衛門 。上の原田本  
。隆興寺 。岡本 。山田河内紙屋 。木下  
。滝場 。代田唯次郎 。亀割 。庶民の文化

六四